

# 社会科（歴史的分野）学習指導案

学 級：2年1組 29人  
場 所：2年1組 教室  
指導者：教諭 阪本 晃年

## 1 単元名 「産業の発達と幕府政治の動き」

## 2 単元について

### (1) 教材観

徳川家康が基盤を作った幕藩体制では、少数の武士が多数の町人や百姓を厳しい身分制度や徴税によって統制していた。しかし、安定した社会が形成されるにつれて、都市のみならず農村にも貨幣経済が浸透し、貧富の差が拡大するようになり、幕府や諸藩の財政は次第に苦しくなった。財政再建に苦しむ幕府や諸藩は百姓への負担を強めたが、飢饉等で生活に困窮した百姓は団結してたびたび一揆をおこすようになった。

これらの問題を解決しようと、幕府では18世紀から19世紀初めにかけて様々な改革が行われることとなったが、天災や飢饉等の影響もあり、効果的な改革ができず、町人や百姓は、次第に幕府への不平や不満をつのらせていった。

一方、財政再建の改革を成功させた藩が登場した。中でも、薩摩藩や長州藩では負債を整理し、特産品の専売制などから得られた利益で財政を再建し、近代化を進める諸政策を実施した。改革を成功させたこれらの藩は、のちの明治維新を成し遂げる原動力となっていった。

この単元では、社会の変動や欧米諸国の接近など、国内外の諸問題に対応する江戸幕府の政治改革が次第に行き詰まりを見せるようになっていくとともに、新しい学問や思想が次第に庶民にも広まっていく過程を学習する。幕藩体制が動揺し、倒幕へと向かっていく大きな時代の流れを、武士や百姓、町人などの立場から多面的・多角的に考えさせていきたい。

### (2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に落ち着いてしっかりと学習態度で授業に臨んでいる。教師の指示を素直に聞き、作業にもまじめに取り組むことができている。また、新聞・ニュース等で報道されている時事問題に対して、自分の考えを述べるなど、社会的事象に対して高い関心を示す生徒も見られる。

しかし、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能がすべての生徒に十分に身につけているとは言えず、全体での発表も控えめで、話し合い活動においても積極的に自分の意見を述べる生徒は少ない。また、平成23年度「基礎・基本」定着度調査においては、社会的な思考・判断および資料活用の技能・表現の観点において、課題が見られた。資料から読み取ったデータを分析したり、社会的事象について多面的・多角的に考察したり、その理由を自分の言葉で説明することができない生徒が多いため、教科指導における今後の課題であると考えている。

### (3) 指導観

指導にあたっては、江戸時代の歴史の流れを捉えさせながら、社会の変動によって幕藩体制が次第に行き詰まりを見せていく過程を理解させる。また、言語活動を充実させるための工夫として、資料活用のポイントを示した「リードシート」を用いながら、課題に対する予想・仮説を立て、それを追究する学習活動を行わせたい。さらに、江戸時代における耕地面積と石高に関するデータや、農具の進歩が理解できる史料及び百姓一揆・打ちこわしの件数データ等を、ICTを活用して多面的・多角的に分析させ、生徒の資料活用能力を高める学習活動を展開していきたい。これらの活動を通して、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成をはかり、ひいては社会科における「確かな学力」を育てていきたい。

### 3 単元の指導目標

- 産業の発達や幕府政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究させる。 【関心・意欲・態度】
- 産業の発達や幕府政治の動きとその行き詰まり、新しい学問・思想の動きなどから課題を見出し、時代の特色と変化を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【思考・判断・表現】
- 産業の発達と幕府政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を読み取ったり、まとめたりさせる。 【資料活用の技能】
- 安定した社会が産業の発展により次第に変化し、幕府政治が行き詰っていったこと、その中で学問や思想、文化に新しい動きが見られたことを理解させる。 【知識・理解】

### 4 単元の指導計画

単元名	主題と時間配分	指導の流れ	言語活動(☆)・ICT活用(◎)の工夫
3 産業の発達と幕府政治の動き	1 農業や諸産業の発達  (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べさせ、幕府や藩が産業の発達を奨励した理由を考えさせる。</li> <li>・ 産業、交通の発達によって貨幣経済が進展し、町人の力が増したことを理解させる。</li> </ul>	☆ 江戸時代に石高が増加した理由を予想させ、グループによる検証活動を行い、資料から読み取ったことを話し合い活動で交流させる。 ◎ 農具の開発などで生産効率が上がっていることに気付けるように、プレゼンテーションソフトを用いて資料を提示する。
	2 都市の繁栄と元禄文化  (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三都をはじめとして、江戸時代に都市が発達した理由を政治や経済のしくみなどから考えさせる。</li> <li>・ 綱吉の政治の特色を理解し、また文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解させる。</li> </ul>	☆ 資料を基に、三都をはじめとした都市が発達した理由をまとめさせ、自分の言葉で説明させる。 ◎ 「大阪の蔵屋敷」の絵を提示し、読み取ったことを発表させる。
	3 享保の改革と社会の変化  (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕府政治の改革が必要になった理由を、貨幣経済の広がりなどから考えさせる。</li> <li>・ 幕藩体制の基盤が揺らぎ、百姓一揆や打ちこわしが増えたことを理解させる。</li> </ul>	☆ 徳川吉宗が行った様々な改革のねらいについてグループで話し合い、まとめた意見を発表させる。 ◎ 大名や武士の暮らし、藩の財政についての資料を提示する。
	4 幕府政治の改革  (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、目的・方法などについて共通点と相違点を考えさせる。</li> <li>・ ロシアの接近に対する幕府の外交政策を、間宮林蔵らの北方探検を通して理解させる。</li> </ul>	☆ 田沼意次の政治と松平定信の政治の共通点や相違点を話し合わせ、気付いたことを発表させる。 ◎ 二人の政治の目的や方法の共通点、相違点をプレゼンテーションソフトで整理し、授業のまとめで活用する。
	5 新しい学問と化政文化  (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べさせ、社会の動きとの関連を考えさせる。</li> <li>・ 寺子屋や藩校が各地に設けられたことを通して、教育への関心が高まってきたことを理解させる。</li> </ul>	☆ 国学や蘭学が世の中にどのような影響を与えたのか、グループで話し合わせる。 ◎ 蘭学に関する資料や、寺子屋の画像を提示し、気付いたことを発表させる。

単元名	主題と時間配分	指導の流れ	言語活動 (☆)・ICT活用 (◎) の工夫
3 産業の発達と幕府政治の動き	6 外国船の出現と天保の改革-① (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、北方の調査や外国船打払令などから理解させる。</li> <li>大塩の乱、天保の改革について調べさせ、幕府政治にどのような変化が見られたのかを考えさせる。</li> <li>諸藩がどのような改革を行ったか調べさせ、財政改革を実現した藩の共通点を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 幕府の政策に対し、人々はどのように思っていたのかをグループで話し合わせ、まとめた意見を発表させる。</li> <li>◎ 地図を提示し、外国船が接近した場所を確認させる。</li> <li>◎ 諸藩の改革についての資料をプレゼンテーションソフトでまとめ、授業のまとめで活用する。</li> </ul>
	6 外国船の出現と天保の改革-② (薩摩藩の財政改革) (1時間) (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>薩摩藩は、なぜ財政再建に成功したかについて予想し、資料を基に追究させる。</li> <li>薩摩藩の財政改革について具体的に調べさせ、薩摩藩が財政再建を果たすことができた要因を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 薩摩藩が財政を立て直すことができた要因をまとめ、発表させる。</li> <li>◎ 薩摩藩の改革を行った人物や、財政改革に関する資料をプレゼンテーションソフトにまとめて提示し、気付いたことを発表させる。</li> </ul>

## 5 本時の実際 (6/7)

### (1) 主題名「外国船の出現と天保の改革 - ② 薩摩藩の財政改革」

#### (2) 学習目標

- 幕府や諸藩が財政の悪化に苦しむ中、なぜ薩摩藩は財政を再建することができたのか、資料をもとに多面的・多角的に考察し、調べたことを分かりやすく発表することができる。
- 薩摩藩の財政再建は、負債の整理・黒砂糖の専売制・琉球を通じた清との密貿易などの財政改革によって成し遂げられたことを理解する。

#### (3) 研究仮説に沿った仮説実証の視点

視点ア 生徒の興味・関心を高めさせるため、導入でプレゼンテーションソフトを活用する。

(◎: ICT活用)

視点イ 思考力・判断力・表現力を育成するため、話し合い活動を取り入れるとともに、書画カメラを使った発表の場を設定する。

(☆: 言語活動 ◎: ICT活用)

視点ウ 学習課題に対する自分の考えを論述させるため、リードシートの活用を取り入れる。

(☆: 言語活動)

#### (4) 観点別評価規準と生徒の姿

本時で評価する観点	評価規準	生徒の姿
関心・意欲・態度	薩摩藩の財政改革に興味を持ち、意欲的に追究している。	グループで意見を出し合いながら、薩摩藩の政策について意欲的に調べている。
思考・判断・表現	薩摩藩の財政政策の効果について考察し、その結果を分かりやすく説明することができる。	学習課題の解決のために調べて分かったことを、資料をもとに説明し、交流で互いの考えを練り上げている。
資料活用の技能	薩摩藩の財政改革を諸資料から読み取り、リードシートにまとめている。	諸資料から読み取ったことを、分かりやすくリードシートにまとめている。
知識・理解	薩摩藩の財政再建は、負債の整理・黒砂糖の専売制・琉球を通じた清との密貿易等の政策によって成し遂げられたことを理解している。	資料を基に、薩摩藩の財政再建のための政策を理解し、その知識を身に付けている。

## (5) 授業の展開

(☆: 言語活動 ◎: ICT活用)

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点	
導入	7分	一斉	1 薩摩藩の財政状況を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフトを活用し、天保の改革が行われた時期の薩摩藩の財政状況を示す。</li> <li>幕府や他藩の改革と比較しながら、学習課題を導く。</li> </ul>	<b>視点ア</b> ◎ プレゼンテーションソフトを使って、薩摩藩の借金のグラフを提示する。	
			2 学習課題を設定する。			<b>【学習課題】</b> 薩摩藩は、なぜ財政を立て直すことができたのだろうか。
展開	7分	ペア	3 薩摩藩が、どのような方法で財政を立て直した(借金を返済した)か、予想する。 <b>【ペア学習による予想】</b> (反応例) <ul style="list-style-type: none"> <li>百姓の年貢をさらに重くしたのではないか。</li> <li>借金をなくすように商人にお願いしたのではないか。</li> <li>外国と貿易をして得られた利益で借金を返済したのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薩摩藩の負債がのちに整理されていることに気付かせ、返済の方法についてペアで予想させる。</li> <li>機間指導をしながら、各ペアがたてている予想を把握する。</li> <li>負債の整理・黒砂糖の専売制・琉球を通じた清との密貿易等に関連した予想を立てているペアに発表させる。</li> </ul>	<b>視点ア</b> ◎ プレゼンテーションソフトを使って、薩摩藩の備蓄金に関する資料を提示する。	
	15分	グループ	4 薩摩藩は、どのような方法で財政を立て直したのか、資料を基にグループで調べる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた内容をリードシートに記入させる。</li> </ul>
	15分	一斉	5 薩摩藩の財政政策の効果について、グループの考えを発表させる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの考えを、根拠(どの資料から考えたか)を明確にして、話すことができるようにさせる。</li> </ul>
終末	6分	一斉	6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告をする。</li> </ul>	<b>視点ウ</b> ◎ 学習課題に対する自分の考えを論述させるために、リードシートを活用する。	

## (6) 検証の方法

視点ア 導入時における生徒の反応を観察する。

視点イ グループ活動において活発な意見交流ができていないか観察し、交流で得られた意見を他の生徒にわかりやすく説明するための記述ができていないか、リードシートにより確認する。

視点ウ 資料をもとに根拠に基づいた説明・論述ができていないか、リードシートの記述により確認する。